

社員との関わり

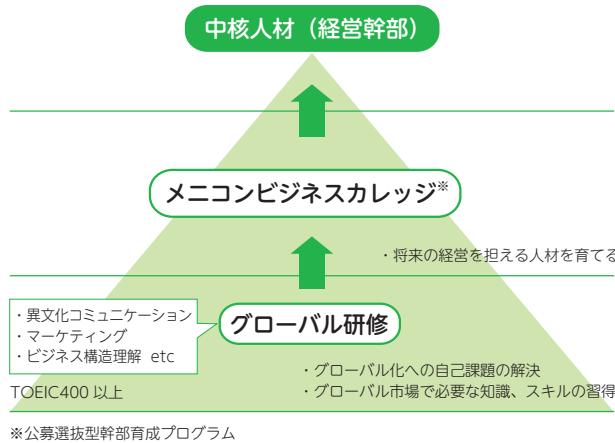
従業員の人権を尊重するとともに、キャリア開発支援、働きがいを感じることのできる就労環境整備、人事・教育制度や福利厚生制度の確立・運用、健康経営推進により、従業員満足を高めて、グループ組織としてのパフォーマンスを向上させることを追求します。

グローバル戦略を見据えた人材育成制度

新しい商品・サービスを全世界に広げ、すべてのステークホルダーから信頼され愛される企業を目指して、当社は「中核人材育成」に向けた体系的な研修を導入しています。グローバル意識の醸成や課題を認識する「グローバルマインドセット研修」を起点に、ボーダーレスな活躍を志向する社員を対象に具体的なスキルや問題解決力を養う「グローバル研修」を行い、グローバルに活躍できる人材の育成に励んでいます。

また、将来の経営幹部育成のために公募選抜型幹部育成プログラム「メニコンビジネスカレッジ」を開講し、経営に必要な知識の習得だけでなく、メニコンDNAを受け継ぐ人材の育成にも力を入れています。併せて、階層別の「新入社員研修」「企画職2年目研修」「新任管理者研修」で、個々の成長や自己啓発を支援する機会を設けています。

グローバル経営人材育成



プロを育てるアドバイザー資格制度

メニコンは2002年より独自のコンタクトレンズアドバイザー資格制度「PAL^{※1}」を導入しています。①商品の品質を顧客に正しく確実に伝える力 ②商品の高付加価値化に対応できる力 ③習得した知識と技術を活用できる力、の3つを備えた人材の育成に取り組んでいます。基礎的な内容の「エレメント」をベースに、「スーパー」「ハイパー」の3階

層からなる試験は毎年600名近くの社員が受験しています。専門知識を網羅したテキストは、業務に直結したバイブル的存在としても活用されています。

さらに、「スーパー」および「ハイパー」保持者は、コンタクトレンズのプロフェッショナルとしての自覚を持ち続けられるよう、名刺に保持資格を表示するなど、社員一人ひとりが成長する企業風土をつくり上げています。

また、2016年には「BAL^{※2}」も導入しました。これは当社のものづくりの歴史や文化といった非学術的な分野における資格制度であり、PALと併せて「真の安全哲学の伝道師」の育成を目指しています。

※1 Menicon Products Adviser License Systemの略称

※2 Menicon Brand Adviser License Systemの略称



心身の健康をサポートする充実体制

メニコンは、高度管理医療機器であるコンタクトレンズを取り扱う企業として、社員が健康に良いコンディションで仕事に打ち込めるよう、さまざまな支援体制を整えています。医療関係者やエンドユーザーであるお客様と接する機会が多いことから、インフルエンザ予防接種や禁煙外来治療費を援助する一方で、本社の広報掲示板および隣接駐車場に禁煙メッセージのパネルを設置し、社員はもちろんのこと、お取引先様には来社1時間前からの禁煙を呼び掛け、受動喫煙防止活動を実施しています。

また、2016年から本社事業所でマッサージ師（国家資格）による施術を受けられるようになりました。メンタルヘルスケアとして、労働安全衛生法に則ったストレスチェックはもちろんのこと、社員の家族も利用できるホットライン「こころの電話相談」を導入し、サポートの充実を図っています。このように社員が、心身ともに健康で毎日を送れるよう応援しています。